

西宮の子どもについて語ろう



子どもをただ預ける場ではなく、親と保育者が共に育て合う場としての保育所働いているとか働いていないとか関係なく、子どもが育つ場としての保育所そんな保育所があったらいいなあ、と思ってはじまったはらっぱ保育所です。そして、障がいのある子もない子もお互いを知りあって、育ちあってほしい。子どもの身体づくりに安心して食べられる、安全な食事を提供していきたい。土や風や水に触れて、感じて育って行ってほしい。そんな保育所でありたいと考えてきました。まだまだ、子どもたちのしあわせに添えないところもいっぱい。できていないところもいっぱい。いろいろ考えて、試して・・・40年経っていました。ここに在り続けることで、子どもたちの笑顔のひとつでも増やしていけたら。子育てが楽しいと思える社会づくりの一助になれば。そんな思いで、西宮の子どもに関わる方々にお話を伺いたいと思います。



ゲストプロフィール



小川雅由さん

1972年西宮市役所入所。92年環境省こどもエコクラブ事業（95年スタート）の基本モデルとなる地球ウォッチングクラブ（EWC）事業を開始。98年「こども環境活動支援協会（LEAF）」の発足に携わる。2003年西宮市環境都市推進グループ課長着任。同年12月「環境学習都市宣言」を行う。06年3月西宮市退職、現在NPO法人こども環境活動支援協会理事として環境学習などを通じた次世代育成や、持続可能なまちづくりを提唱。公益財団法人コープともしびボランティア振興財団理事。

芦田乃介さん

1960年、西宮市に生まれる。1985年、自治医科大学を卒業後、僻地勤務研修、県立尼崎病院小児科研修、公立浜坂病院小児科医長、笹生病院小児科医長を経て、2004年、西宮市門戸荘に「ゆうあしだ こども診療所」を開設。地域のお医者さんとして信頼を得ています。はらっぱにおいては嘱託医として子どもたちの健康面を支えて下さり、「小児科の先生のおはなし」シリーズの講演会や、心肺蘇生講習会の開催など、長年に渡ってお世話になっています。

一色 風子さん

はらっぱで育ち、はらっぱの根幹でもある「食」を支える調理スタッフとしても長年勤務。育成センターの父母会長などの経験などから縁があり、2015年の統一地方選で初めて政治の世界へ挑戦し、西宮市議会議員として活動開始。子ども支援・子育て支援施策を中心に「限られた税金の使い道を教育福祉に」を政策の原点に活動中。はらっぱ保育所の“子どもを中心にしておとながつながる”という理念をまちづくりにも活かしていきたいと、多方面に向けて働きかけています。